

応援します！ #パートナーシップ構築宣言

ジーンズメーカーのベティスミス

■顔なじみのお取引先と

国産ジーンズ発祥の地とも言われている児島地区。ベティスミスは1962年に日本初のレディース専門ジーンズメーカーとしてジーンズ業界に進出し、60年以上この地域でジーンズを製造している。そのため取引先も昔からの顔なじみが多く、「お互いがやりやすいように」を心がけ、日々のコミュニケーションを大切に、取引を行っている。



■「もったいない」から生まれた岡山のお土産



小学生の工場見学をきっかけに「ECO Betty」が誕生。これまで端材として余っていたデニムの布やジーンズのパーツからペンケースを作成し、見学後のお土産としてプレゼントした。コロナ禍には「ECO Betty プロジェクト」を行うなど、エコでサステナブルな取組を進めており、インテリアやトラベルアイテムなども展開している。

今では岡山のお土産として、サービスエリアや空港などでも販売されている。

■若手職人の育成・技術の伝承

受注したオーダーメイドのジーンズは、1本1本、手作業で製造する。ジーンズの品質の良さはもちろん、「細部へのこだわり」がポイント。将来独立を目指す新入社員も多いため、新入社員は積極的に工場に配属し、工場業務の理解を深めている。

「SEN-I MEISTER (繊維マイスター)」や「JEANS SOMMELIER (ジーンズソムリエ)」という資格制度をステータスとし、給与体系にも反映することで、人材育成、社員のモチベーション向上に繋げている。



■製品の高付加価値化に向けて

日本製のジーンズが海外から注目を浴びるようになったのは 2000 年頃。当時の世界市場のスタンダードは、大量生産でコストダウンした製品だったが、日本では少数で色々な種類のジーンズを製造していた。ロサンゼルス発のセレブジーンズが流通していく中で、日本のジーンズが注目されることになった。

これを契機に、海外との競争の中で、海外でうけるもの、生き残れるものである高付加価値製品に舵を切った。「日本製」であるということ価値として、細部までこだわったハンドメイド製品に注力している。

サプライチェーン全体で高齢化が進む中、ボタン留めや仕上げのアイロン工程などは特に厳しくなっており、自社での内製化・機械化を検討している一方で、職人を目指せることから若返りの進んでいるデニム縫製工程での価値創出を住宅メーカーなど異業種とも連携しながら進めている。



【会社概要】

会社名：株式会社ベティスミス

所在地：岡山県倉敷市児島下の町5丁目2番70号

パートナーシップ構築宣言日：2024年1月31日

<https://www.biz-partnership.jp/declaration/49654-05-03-okayama.pdf>

■担当者の一押しポイント

同社は「Eco Betty」と言われるサステナブルブランドを展開している。自社敷地内にはジーンズミュージアムやジーンズ作り体験施設を設け、一般の人がジーンズの歴史に触れる機会を創出するほか、ジーンズに携わる若手人材を増やすなど、児島の特産品を未来にも繋ぐために取り組んでいる企業だと感じました。

